

分科会開催報告書

報告日	平成 27年 12月 30日	報告者	田中徳明																																							
分科会名	浮雲俳句会	開催テーマ	第95回浮雲俳句会例会																																							
開催日時	平成27年 12月 27日 午前 9:30~11:50	開催場所	金沢地区センター小会議室																																							
参加人数	“わ”の会会員 男 14名	女 5名	合計 19名 欠席者 0名																																							
<p>実施内容</p> <p>第95回例会の出句は兼題 ①松島 ②初冬の人事後半（農・狩）と当季雑詠2句の計4句。句会は、大川一馬会員による添削披露及び太田重九会員による選句の披講の後、北野主宰から、天・地・人各賞及び特選9句並びに佳作7句の発表と、それぞれの句についての論評があった。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">天賞句</td> <td style="width: 65%;">松島の松の百態冬菫</td> <td style="width: 20%;">とも女</td> </tr> <tr> <td>地賞句</td> <td>ひととせの悲喜こもごもや古暦</td> <td>あきえ</td> </tr> <tr> <td>人賞句</td> <td>雪しんしん信濃の山河黙すなり</td> <td>三 洋</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">特選句</td> <td>朝まだき雪の松島墨絵かな</td> <td>二 祥</td> </tr> <tr> <td>松島の島々繋ぐ牡蠣筏</td> <td>一 幸</td> </tr> <tr> <td>松島の牡蠣を景ごと食らひけり</td> <td>重 九</td> </tr> <tr> <td>映画見る後に廻せし煤払ひ</td> <td>祥 代</td> </tr> <tr> <td>冬田打ち一畝ごとに一休み</td> <td>一 祝</td> </tr> <tr> <td>枝を打つ音透きとほる深山かな</td> <td>十 九</td> </tr> <tr> <td>子守唄ハミングしつつ菜を洗ふ</td> <td>勇 平</td> </tr> <tr> <td></td> <td>枯尾花夕映え色の名残りあり</td> <td>和 女</td> </tr> <tr> <td></td> <td>立ち読みの言い分けのごと日記買ふ</td> <td>一 馬</td> </tr> </table> <p>主宰の指導 ①自然描写では、人的用語を避け客観描写を心掛けること ②単純な表現で、豊富な内容を表現する工夫を</p> <p>会員選高点句</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">8点句</td> <td style="width: 65%;">枝を打つ音透きとほる深山かな</td> <td style="width: 20%;">十 九</td> </tr> <tr> <td>7点句</td> <td>雪しんしん信濃の山河黙すなり</td> <td>三 洋</td> </tr> <tr> <td>6点句</td> <td>鎮魂の松島湾に冬日照る</td> <td>勇 平</td> </tr> </table> <p>次回の予定 平成28年1月31日（日）午前 9時30分～午後0時 金沢地区センター 第96回例会 兼題①佐渡ヶ島②人事 披講 二祥</p> <p>その他 ○28年度のシリーズ兼題が「湖沼」と発表された ○「十年の歩み」の進捗状況の報告と1月句会で各人1万円の負担のお願いあり</p>				天賞句	松島の松の百態冬菫	とも女	地賞句	ひととせの悲喜こもごもや古暦	あきえ	人賞句	雪しんしん信濃の山河黙すなり	三 洋	特選句	朝まだき雪の松島墨絵かな	二 祥	松島の島々繋ぐ牡蠣筏	一 幸	松島の牡蠣を景ごと食らひけり	重 九	映画見る後に廻せし煤払ひ	祥 代	冬田打ち一畝ごとに一休み	一 祝	枝を打つ音透きとほる深山かな	十 九	子守唄ハミングしつつ菜を洗ふ	勇 平		枯尾花夕映え色の名残りあり	和 女		立ち読みの言い分けのごと日記買ふ	一 馬	8点句	枝を打つ音透きとほる深山かな	十 九	7点句	雪しんしん信濃の山河黙すなり	三 洋	6点句	鎮魂の松島湾に冬日照る	勇 平
天賞句	松島の松の百態冬菫	とも女																																								
地賞句	ひととせの悲喜こもごもや古暦	あきえ																																								
人賞句	雪しんしん信濃の山河黙すなり	三 洋																																								
特選句	朝まだき雪の松島墨絵かな	二 祥																																								
	松島の島々繋ぐ牡蠣筏	一 幸																																								
	松島の牡蠣を景ごと食らひけり	重 九																																								
	映画見る後に廻せし煤払ひ	祥 代																																								
	冬田打ち一畝ごとに一休み	一 祝																																								
	枝を打つ音透きとほる深山かな	十 九																																								
	子守唄ハミングしつつ菜を洗ふ	勇 平																																								
	枯尾花夕映え色の名残りあり	和 女																																								
	立ち読みの言い分けのごと日記買ふ	一 馬																																								
8点句	枝を打つ音透きとほる深山かな	十 九																																								
7点句	雪しんしん信濃の山河黙すなり	三 洋																																								
6点句	鎮魂の松島湾に冬日照る	勇 平																																								